

NEOCAPITAL公式武術講座
2500年間一子相伝で伝承されてきた無形文化遺産「武学」を人生に活用して、
医学、体術、ビジネスを包越した感覚を肉体を通してインストールする半年間講座

酔八仙之術

こんにちは。
4月より、NeoCapitalで開講した「第1期武術講座」の第2期を開講する事になりました。

「武術」と聞くと、ただのスポーツ？と思われるかもしれませんが、
実は、ビジネスや、医学を学ばれている方の中でも、
武術を学ばれている方がかなり多いのをご存知でしょうか。

なぜ、武術が経営者や医療家に人気なのか？というと、
「非常に抽象度の高い感覚を”肉体を通して”学べるから」
なのです。

死ぬまで強くなり続ける

武術は、格闘技とは全く異なります。

格闘技は、筋肉を付けて、鍛えていく事で強くなりますが、
格闘技には「ピーク」があります。

つまり、いくら鍛えようとも、
30代のあたりでピークが来て、
その後はどんどん筋肉は衰え、歳を取る毎に弱くなっていきます。

一方で、武術は違います。
武術は、一切の筋肉を必要としません。

武術における強さとは、
「どれだけ功夫(クンフー)を積んでいるか？」
なのです。

「功夫」とは、
「どれだけエネルギー(氣)のコントロールができるか？」
みたいなイメージです。

そして、面白い事に、
この「功夫」は、どんどん積み上がっていきます。
つまり、積分値なのです。

だから、30歳から武術をはじめたら、
30歳よりも40歳の時の方が、
40歳よりも50歳の時の方が、
50歳よりも60歳の時の方が強くなるのです。

要するに、
死ぬ時が一番強くなっているのです。

そんなバカな、と思われるかもしれませんが、
武術の達人は、その場で一步も動かずに、
ほんの僅かな動きで、一切の力を使わず、
相手を倒してしまうのです。

格闘技が物理的エネルギーを比べる競技なのに対して、
武術は、情報の位置エネルギーの方が重要になってきます。

ほんの僅かな動きに、どれだけの情報が込められるか？という事です。

これは、コピーライティングに似たものを感じます。

思考の抽象度が高い人は、
より多くの情報を、わずか数文字に込める事ができます。

それが「深さ」みたいなものになるのです。

それと同様で、
武術をやっていると、どんどん思考の抽象度は上がっていきます。

そして、身体と心は繋がっていて、
心のブロックは、身体ブロックでもあるのです。

たとえば、「体がかたい人」というのは、
決して体に問題があるわけではなく、
「自分は体がかたい人だ！」
って思い込んでいるだけなのです。

「ここまでが限界(これ以上曲げようとするとう痛い)」
というのを勝手に自分で決めているだけで、
その「思考のブロック」が取れば、勝手に体は柔らかくなるのです。

実際に、セミナーで「体を柔らかくする」という事を以前やった事があるのですが、
数分もあれば、誰でも簡単にできるのです。
(催眠術などは一切使いません。)

何をするか？というと、
「その人の抽象度を上げるだけ」
です。

抽象度を上げるとは、言わば山の頂上に行くようなもので、
今まで見えていなかった景色が一望できて、
自分がブロックだと思っていたものがブロックでは無くなります。

それを、「体を通して」体感する事ができるのが武術です。

悪い影響を受けないようになる身体

体を通して、エネルギーをコントロールする術を学べば、悪いエネルギー(悪い情報による影響)を受けにくい体を作り、思考がブレにくくなります。

「悪いエネルギーを受ける」とは、例えば変な人に会った時に疲れたりする事を指します。

それは、その人から、何らかの悪い影響を受けているからなのですが、そうなる原因は「恐怖」にあります。

人は、恐怖を感じると、思考がブレやすくなり、洗脳されやすくなるのです。

「もしかしたらこの人から悪い影響を受けるかも！」と思えば、本当に悪い影響を受けます。

「この人凄い人だから、きっと正しい事を言っているに違いない！」って思っていると、その情報の正誤に関わらず、無条件で受け入れ、時には洗脳されてしまいます。

洗脳とまではいかなくとも、人は常に、色んな人や、メディアから、何らかの影響を受けているのです。

そして、これは別に顕在意識で恐怖を感じていなくとも、無意識に「自分はこの人に影響を受ける」と思えば、受けるのです。

特に、権威ある人、抽象度の高い人の情報を読んだり聞いたりするだけで、沢山の影響を受け続けます。

それが良い影響なら良いのですが、悪い影響も多々あるのです。

恐怖を克服する

では、恐怖を感じない精神力を付ける為にはどうすれば良いのでしょうか？

先ほど、心と体は繋がっている、と話した通り、強い精神力を持ちたければ、強い精神が宿る身体を作る必要があります。

これは決して「鍛える」という意味ではありません。

確かに、筋肉を付ける事で、ある程度は影響を受けにくいようにはなりますが、それだけでは限界があります。

むしろ、偏った運動をして、体の一部にだけ筋肉を付けると、特定の影響に対しては強いけれど、特定の影響に対しては弱い、

という事が起こります。
(これは、例えば上半身だけを鍛えている人は、
上半身への攻撃には強いけど、下半身への攻撃には弱いと同じです。)

本当の意味で強い精神力が宿る身体とは、筋肉の量は関係無く、
「エネルギーのバランスが整っている身体」
なのです。

そんな身体を持っている人を、別の表現を使って言うと、
「胆力(たんりょく)がある人」
となります。

胆力とは、「肚(はら)の力」とも言って、
これがある人は、たとえ腕力が強くないとしても、
どんな人に対しても、恐怖を感じなくなり、
それによって、悪い影響を受けなくなります。

そもそもの話をすると、
僕らは殴られても、恐怖を感じていなければ、思っているほど痛くはないのです。

「殴られたらきっと痛い！」
というメンタルブロックがあり、
それによって、殴られた瞬間に体が強ばり、身体のエネルギーが乱れ、
強烈な痛みとなります。

本当に肚の力がつくと、
殴られる事も、蹴られる事も、全く怖くなくなるし、
そうなる、たとえ筋肉なんて無くとも、脱力した状態で、
殴られても全く効かない身体となります。

いきなり最終地点に行く

また、武術は、全ての格闘技を混ぜた(包摂した)もので、
実際に合気道、少林寺拳法、太極拳、空手、テコンドーなど、
多くの技が混ざっています。

しかし、1つ1つの技をイチイチ覚えたりはしません。

どうするのか？というと、
「いきなりゴールに行く」
のです。

例えば、エネルギーが完全に整った状態を作ることができれば、
合気道や太極拳の技は、習わずとも、ほとんど一瞬で使えるようになります。

なぜなら、合気道や太極拳は、
「エネルギーが完全に整った状態の動き」
を型によって学んでいくものだからです。

コピーライティングのテクニックを1つ1つ覚えて使おうとせずとも、

抽象度の高い人が書いた文章は、コピーライティングを無意識に使っているのと同じで、

1つ1つの技を習うのではなく、
最初に一番山の頂上に行き、全体を見渡して、
自然に身体を動かしていれば、勝手に達人の動きになるのです。

そうは言っても、そんな状態を作るのには時間がかかるのではないかと
思われるかもしれませんが、実は、練習すればすぐに作れるのです。
(慣れれば、一瞬で作れるようになります。)

武術で重要な考え方は、

「ゴールに辿り着くのに時間をかけるのではなく、
いきなりゴールに行き、”その状態を維持する事”を大事にする」

のです。

だから、例えば合気道などで多くの人が時間をかけて習得する「投げ」系の技なんかも、
技を練習せず、細かい型なんて教わらずとも、
すぐにできるようになってしまうのです。

ずっと思考の抽象度を高い状態にしておく事ができれば、
どんどん功夫は積み上がっていきます。

つまり、武術においては、
日常全てが練習となるのです。

先生より教わるのは、あくまで「ゴールの状態」に過ぎません。

あとは、日々生きている間、
歩いている時も、電車に乗っている時も、
買い物している時も、食事を取っている時も、
寝ている時も、メルマガを書いている時も、
常にそのエネルギー状態を維持する、という事が修行なのです。

つまり、**24時間、常に修行し続ける**という事です。

そうやって、日々生活を送りながら功夫を積んでいき、
たまに練習する時に、お互いに確認し合って、
足りない部分を軌道修正していくのです。

また、武術では、
「礼」を大事にします。

これは「感謝」や「相手を思う祈りの気持ち」です。

どういった心理状態で、
どんな姿勢で、感謝や祈りの気持ちを作るのか？

という事を、物理、心理の両側面から解析していきます。

ほんのわずかに身体の角度や位置が変わっただけで、エネルギーが乱れ、感謝や祈りの気持ちが崩れます。

本当に感謝や祈りの状態が作れている時は、殴られても痛くないし、逆に相手の動きを制御できるようになります。

そういった微細な動きを調節しながら、ただしく感謝や祈りのエネルギー状態を作るだけで、エネルギー循環が起こり、身体はみるみるうちに強くなっていきます。

自他不敗の精神

格闘技は、「相手を倒そう」として、心のぶつかりを生む事が多いのですが、武術は真逆なのです。

武術では、「いかに相手を思う事ができるか」「相手に感謝し、相手の幸せを祈る事ができるか」が重要となります。
(正確には、格闘技においても、極めている人は、その状態となります。)

つまり、自分も負けない、相手も負けない、という、「自他不敗」の精神です。

相手を壊す事ではなく、相手を思う事で、祈りの状態が作れるのです。

その相手を思う祈りの気持ちの度合いが、「功夫」なのです。

功夫を積み積むほど、精神性は高まり、恐怖は消え、悪いエネルギーを受けなくなり、抽象度は高まっていきます。

また、連動して、身体の使い方が変わっていき、武術における様々な技が使えるようになります。

そして、普通の人が見えられない、抽象度の高い情報をキャッチできるようになります。

ゴールにはいきなり到達できるけれど、それを維持する修行(功夫は積む事)は必要。

これが武術の全体像です。

高い感覚の状態になると、身体のエネルギーの滞りが無くなり、エネルギーに満ちた「非常に高い感覚」となり、達人の動きが自然とできるようになります。

その状態だと、例えばメルマガの文章を書くと普段とは全く違うものになるし、

人と喋ると全く違うコミュニケーションが取れるようになるし、勉強する際も、他のスポーツをするにしても、色んな変化が見られます。

それが「武術」という世界で、僕はこれに出会う事で、かなり自分の世界が広がったように感じました。

というのも、僕はそれまで、本を読み、セミナーを聞いて、文章を書いて、セールスして、コンテンツを作って、といった感じで、脳だけを使って全てを行なって来ました。

しかし、武術に出会う事で、心と身体は繋がっていて、むしろ、「心を変えなければ、身体から変えた方がはやい」という事実に気付く事ができたのです。

もう少し正確に言うなら、これらは両輪です。

つまり、精神性(マインド)を高める修行をすれば、武術のスキルが上がる(つまり、功夫が積まれる)し、逆に、功夫を積めば、精神性が高まります。

どちらかに偏ってもダメで、両輪がまわし出した時、成長が加速するのです。しかし、最初のアクセルは、「目に見えるもの」から入った方が早いのです。

医学、武術、ビジネスが繋がる世界

武術がどういった世界かはなんとなくでも分かって頂けたかと思いますが、正直、これは誰が教えるか？が非常に重要になってきます。

強い人から教われば良いのか？というと、そうでもありません。

達人になるほど、抽象度が高過ぎて、動きが繊細過ぎて、「何を言っているのか全く分からない」のです。

「武術のレベル」と、「それを分かりやすく教えられるかどうか」は別なのです。

本講座では武術のレベルも高く、かつ、教えるのも上手な先生に指導をお願いすることができました。

それがレノンリー先生です。

レノンリー先生は、中国の武術大会で優勝した経験を持ち、更に、自分の生徒にも優勝させている実績を持っています。

中国の戦略軍師「孫子」によって作られ、

一子相伝で受け継がれて来た最高秘伝である「武学体術」を正統継承し、その奥義を「酔八仙之術」としてまとめ、伝えて下さっているのです。

武術家というのは、それを専門にやるもので、我々がやってもお遊び程度(あるいは楽しいスポーツ)にしかならないだろう、と思うかもしれませんが。

しかし、武学体術の話聞いていくと、
どんどん武術の奥深さに惹かれていき、
それにつれて武術のレベルも上がり、
更にそれが他の分野にも活かせる事を「体」感じていくのです。

レノンリー先生は、武術家でありながら、
東洋医学、経営学なども学ばれていて、
それらを統合した「武学」を体系化されています。

単純に武術を学ぶ事自体も楽しいのですが、
更に、医学やビジネスを、肉体を通して学ぶ事ができる、
という楽しさもあります。

ひとそれぞれ、仕事や興味はいろいろですが、それを極めていくと
「ビジネスを学んだ先に見える世界、
医学を学んだ先に見える世界、
武術を学んだ先に見える世界、
これらは全て繋がっていて、同じ世界を異なる切り口で見ているだけである」
ということがわかる瞬間があります。

むしろ、武術を通して、
全てに通じる高い感覚の状態を肉体にインストールさせる事ができる、
のです。

相手を殺す技術

武術はもともと、
「相手を的確に殺す技術」
でした。

物騒に聞こえるかもしれませんが、本当に「殺し方」を学んでいます。

しかし、
殺す方法を知っている人こそ、
自分も相手も守る事ができるのです。

これは決して、
「自分はいつでも相手を殺せるんだ、自分の方が凄いんだ」
という優越感に浸る為ではありません。

そうになってしまうと、どんどん偉そうになり、
天狗になり、精神性は崩れていきます。

技術というのは、道(生き方)とセットで学ぶべきものです。

危険な技術は、裏を返せば、
人を助ける為に使う事ができるのです。

そして、もう1つ重要なのは、
「再現性」
です。

相手を殺す技術を学ぶ、となった時に、
ハードなトレーニングをしなければいけなかったり、
力が無ければできないものだと、一部の人は使えません。

しかし、酔八仙之術は、もともと女性の為に作られたものです。

つまり、
女性の力でも、男に負けない為の技術なのです。

だから、最小限の動きに、膨大な情報を圧縮する事ができるのです。

情報を圧縮して相手に送る

酔八仙之術を学ぶにあたって、
時にはナイフや刀を使って練習する事があります。

もちろん、ホンモノではないのですが、
ナイフや刀を使って、相手を斬り殺す練習をします。

ここで重要なのは、
「本当に相手を斬るイメージを作る(臨場感を高める)」
という事です。

この臨場感が高まると、どうなるのか・・・？という、

たとえナイフや刀を持っていなくとも、
刀を持っていると見立てて相手を斬るかのようなイメージをしながら何らかの技をかけると、
相手は、まるで斬られたかのような感覚になって倒されてしまうのです。

漫画のような話ですが、
こんな不思議な現象すらも起こるのです。

普通に動くのと、見えない刀を持っているとイメージしながら動くのとでは、
見かけ上はほとんど変わりません。

しかし、その微細な動きの差に、膨大な情報が詰め込まれ、
それが相手に伝わります。

ボーリングにおいて、ストライクになる時とゲーターになる時で
動きはほとんど変わらないのと同じです。

わずかな動きの変化で、エネルギーは乱れたり、高まったりするのです。

より高い抽象度の世界に臨場感を作れば、
相手に自分が作ったイメージを転送する事ができるのです。

武術は、そんな抽象度の高い情報戦を行なうのです。
ほんの僅かな動きに、膨大な情報を載せ、相手に転送し合います。

そういった感覚が分かれば、
それをメルマガを書く際にも応用する事すらも可能です。

自分が書く文章に、膨大な情報を圧縮して、乗せる事で、
「オーラをまとった文章」となるのです。

肉体を通して情報コントロールを学ぶ

情報のコントロールを学ぶ上で、最も簡単な方法は、
「分かりやすい現象を起こし、それを通して学ぶ」
という事です。

武術は、再現性が非常に高く、
教わった通りの動きをするだけで、
日常の感覚では考えられないような現象が簡単に起こせてしまう
のです。

感覚を上げる時に邪魔をするのが、
「自分には無理」
というメンタルブロックです。

しかし、自分には絶対に無理と思っていた現象が起きた時、
そのメンタルブロックが外れるきっかけとなります。

もちろん、それで「自分は凄い！」と勘違いしはじめるとおかしな方向にいくのですが、
そうではなく、それを多くの人の幸せの為に使おうと考え、きちんと学ぶ事で、
より抽象度の高い感覚を得る事ができます。

ただ、それは非常に微細な動きであるがゆえに、
ビデオ等で学んでも全く意味が分かりません。

その場で、直接インストールするからこそ、
身につける事ができるのです。

なので、当たり前ですが、オンライン講座は無く、
「直接来れる方限定」
とさせていただきます。

2つのコースを用意しました

今回は「基礎コース」と「直伝コース」の2つのコースを用意させて頂きました。

いずれも、レノンリー先生をお呼びして、
直接伝授して頂きます。

基礎コースは、関西と東京で月1回ずつ、半年間で計6回ずつ開催します。
(どちらか1回に参加して頂きます。
関西の場合は、新大阪から1時間以内で行ける場所になります。)

また、それとは別に、皆で集まって練習する会も定期的に設けていきます。

一方で、直伝コースは、月に2回を半年間、プラス東京基礎コース、関西基礎コースにも参加していただき、更に合宿も入れて、合計で25回ほど開催します。(基礎コースへの参加は東京基礎、関西基礎のどちらか一方でOKですが、両方に参加されても結構です)

具体的には、こういった内容となります。

酔八仙之術の内容

酔八仙之術は、8つの術理を練り上げて作られた最高峰の武術体系です。

柔和体術 藍采和(ランサイワ)
歩脚体術 張果老(チョウカロウ)
投拿体術 鐘離権(ショウリケン)
迎撃体術 韓湘子(ハンショウシ)
波動体術 呂洞賓(ロドウヒン)
統一体術 李鉄拐(リテツカイ)
螺旋体術 曹国舅(ソウコクキウ)
交叉体術 何仙姑(カセンコ)

具体的には、以下のような内容を予定しています。

●感謝と祈りによって体の動きを変える「礼拝法」

「祈り」と聞くと、何かの宗教かと思われるかもしれませんが、これは要するに「いかに相手の事を思うか、という気持ち」です。自分も相手も負けさせない、高い抽象度の感覚の事を「祈り」と呼んでいるだけです。この状態はどういったものなのか？心理的な側面と、物理的な側面から解説して頂きます。ここで重要なのは「全て体で覚える」という部分です。少しでも手の角度がズレると、それだけでエネルギーバランスが乱れる事が分かれば、正しい祈りができるようになります。

●気功、瞑想、武術、全ての基礎となる「站椿功(タントウコウ)」

站椿功(タントウコウ)とは、足を少し曲げて、手を前に出すポーズなのですが、これを正しく行なうのは非常に難しく、僕も何十時間も練習してきました。本当に微細な角度が重要になるので、動画などでは決して学ばせませんし、むしろ中途半端に学んで変な癖を付けない方が良いです。ただ同じポーズを取れば良いだけではなく、色んなイメージをしながら、微細な動きを調整していく事が必要で、このエネルギー状態が作れたら、どんどん功夫が積まれていきます。これを学んでもらい、自宅でも定期的にやって頂き站椿功(タントウコウ)のレベルを高めていってもらいます。

●対人で互いにエネルギー調整ができる太極拳の基本「推手」

2人で「推手」という一連の動きを型通りするだけで、互いのエネルギーが高まっていきます。疲れている時や、調子が悪い時に、推手を知っている人同士がいると、お互いにエネルギーを調整し合う事ができるのです。これを学んで頂き、他の色んなセミナーで会った時に、お互いにエネルギー調整をし合えるような仲間になって頂きます。もちろん、僕と会った時に言って頂けたら、いつでもやります。

●マントラを使ったエネルギーの変化の秘密

どんな言葉を出すかで、自分のエネルギー状態は変化します。例えば、パンチを打ちながら、「シュツ、シュツ」と言いながら打つのと、

「ズンッ、ズンッ」と言いながら打つのとで、比べてみて下さい。
「シュッ」と言った方は早くて軽いパンチを、「ズンッ」と言った方は重くて遅いパンチになる筈です。
このように、何をするかによって、どんな言葉を使うかを使い分けると、より効果を発揮するのです。
具体的にどんな言葉を、どのタイミングで使うと良いのかを解説してもらいます。
中には、信じられない現象も起こせるものもあります。

●5つの呼吸法

木、火、土、金、水の5つのエネルギーの呼吸法を学んでもらいます。
呼吸は、人間が「意識」して行なう事も、「無意識」で行なう事もできる、ただ1つの行為です。
逆に言えば、呼吸をコントロールする事ができれば、
無意識の領域にある情報を、意識的に乗せる事ができるようになり、
膨大な情報量を込めた動きをする事ができるのです。
そしてそれは、どのタイミングで、どんな呼吸をするのが重要となります。
例えば、相手と同じリズムで呼吸をするとラポールが形成される、というのは有名な話ですが、
一体どうゆう原理があって、5つの呼吸法を、それぞれどのように使い分ければ良いのか？を
体感を通して学んでもらいます。

●あらゆる軌道からの攻撃に対して防御とカウンターを同時に行なう「十軌陰陽功」

実は、全ての攻撃は、陰陽五行論に基づいた10パターンの軌道に抽象化できます。
そして、それぞれに対しての対象法となる動きを1つだけ体にしみ込ませてしまえば、
いかなる攻撃に対しても、瞬時に動き、相手にカウンターを与える事ができます。
例えば、右斜め上からの攻撃であれば、それがチョップだろうと、拳だろうと、
刀を持っていようと、ナイフを持っていようと、バットを持っていようと、
全く同じ動きで対処する事ができるのです。
その一連の動きを、対人を通して覚えてしまい、意識せずとも勝手に体が動くようにすれば、
いかなる攻撃が来ても、一切迷う事無く対処する事ができるようになります。
これは1日かけて学べばある程度身に付き、あとは定期的に反復練習を行います。
不思議な事に、自転車の乗り方と同じで、一度体にしみ込ませたら、
頭では覚えていなくても、勝手に体が動くようになります。

●物理的攻撃と精神的攻撃(霊的攻撃)を無効化する「波動状態」

打撃などの物理的な攻撃に対して、例えば悪口を言われたりして嫌な気分になるのは、
「精神的な攻撃(霊的攻撃)を受けた」という事になります。
これは、例えば言葉だけでなく、「この人と会うと嫌な気分になる」と思えば、
「何らかの霊的攻撃を受けた」という事になります。
そして、霊的攻撃と、物理的攻撃は、表裏一体であり、
物理的な攻撃が効かないエネルギー状態は、霊的攻撃も効かない状態となります。
それが「波動状態」で、体を波動のようにすると、殴られても、蹴られても、
その衝撃や情報を通過させ、地面に流したり、逆に、相手に返したりする事ができるようになります。
更に、その状態においては、悪いエネルギーすらも、受け流す事ができるようになります。
多分、説明だけ聞いても意味不明だと思いますが、実際に体感するとその凄さが分かります。
自分の体を波動の状態にする練習をしていきます。

●合気道や少林寺拳法における「投げ」「関節技」

柔道における投げは筋肉を必要としますが、合気道や少林寺拳法における投げや間接技は、
誰でも(女性の力でも)できるようにデザインされています。
それを、型を1つ1つ覚えるのではなく、抽象度を上げる事で一気にできるようになってもらう、
という事を目指します。同時に、色んな型も覚えて、いつでも使えるようになってもらいます。

●身体を通して学ぶ「孫子の兵法」

古代中国の戦略家「孫子」は、今でも多くの経営者に好まれています、
彼が言っていた事は結局何だったのか？
ビジネス(経営)ではどう使えて、エネルギー的観点で見るとどうなるのか？
そういった事を、身体を通して体感してもらいます。

●筋肉を付けずに鋼の肉体を手に入れる「韓湘子(ハンショウシ)」

例えば、パンチを手で防ぐ、となった時に、普通に考えると、
「筋肉を付けないと痛い」と思うかもしれませんが、
しかし実は、筋肉なんて付けずとも、自分のエネルギー状態をコントロールする事で、
身体の一部をまるで鋼のように硬くする事ができるのが韓湘子です。

身体の重心の位置や、微細な動きなど、非常に細かい部分を修正していく必要があります。そして、功夫が積まれれば積まれるほど、強くなっていきます。

●たとえ刀を持たずとも相手を斬る「刀剣術」

リー先生は、人間国宝と呼ばれる方から剣を教わっているそうですが、剣の達人は、剣を持たなくとも相手を倒せます。剣を持っているという臨場感が相手に伝わるからで、「斬った」とイメージするだけで、相手は本当に斬られた感覚になるのです。これは潜在意識で思うだけで、顕在意識ではもちろん斬られていないと分かるのですが、そのギャップが認知的不協和を生み、動きを止めてしまいます。日本古来より伝わる、武士道の精神と、その技術を学んでもらい、武道と剣道を融合させていきます。

●キック力を強化するトレーニングシステム「張果老(チョウカロウ)」

武学の秘伝は「トレーニングシステム(練習方法)」にあります。技自体は、やっている人を見ればすぐに分かりますが、多くの人が再現できないのは、「どうすればそこに辿り着くのか」が分からないからなのです。レノンリー先生から教わると、普通に習ったら何年もかかりそうなことが、もの数時間でできるようになってしまうのが面白いところなのです。例えば、「キック」1つを取ってみても、蹴りには、直蹴り、曲蹴り、弾蹴り、螺旋蹴りの4種類で、それぞれ3方向の蹴りで、合計12パターンしかない、という事を教わります。それは、キックボクシング、空手、テコンドーなど、あらゆる格闘技において言える事です。そして大事なのは、どの蹴りをする時に、どういったイメージでするのか？です。例えば、直蹴りは骨の角度を整えて蹴り、曲蹴りは腹筋を使った脚撃という感じで、それぞれ全く違う事をしているのです。どこにエネルギーを使っているのか？が重要なのです。この12パターンを把握せず、適当にミットを蹴っているだけでは、いつまで経っても強くならないし、変に偏った筋肉を付けてしまうと、確かに強くなるけどバランスが悪くなってしまったりもします。武術では、肉体的な次元においても、最短で強化する訓練を行います。

●人体の経絡と体術の関係と、経絡を調整する運動

経絡というのはエネルギーの流れの事です。物理的に存在するというよりは、写像として存在するもので、鍼灸師などは、この経絡を調整しているのです。そして、体の経絡のどこかの部分のエネルギーが滞ると、それに対応した筋肉が働かなくなり、さらにそれに対応した「マイナスの感情」が生まれます。例えば「罪悪感」や「怒り」など、特定の感情に捕われた人は、それに対応した筋肉が働かなくなるのです。人は、動きが変わると、性格が変わるのです。逆に言えば、それらの関係を正しく理解する事で、どういった時に、どのような動きをすれば体のエネルギー循環を保てるのか？を学んでもらいます。

●動物の記憶を呼び覚ますスイッチを入れる方法

武術家は、虎、鶴、龍など、さまざまな動物の動きをインストールして、その動物の動きを再現する事で、秘められたパワーを発揮する事ができます。それは、動きをトレースしたらできる事ではありません。そうではなく、「同じエネルギー固有状態を作る」のが大事なのです。そのエネルギー固有状態を作れば、それに対応した波動を作る事ができ、同じ動きを勝手に再現できるのです。彼らは一体どういった感覚でそれらのエネルギー状態を作っているのか？といった事を学んでもらいます。

●武術映画などでよくある高速打撃を可能にするトレーニングシステム「何仙姑(カセンコ)」

よく、武術系の映画でよくバババっと手を高速で動かして戦っているシーンがあったりしますが、ああいった動きをする為の基本となるのが「何仙姑」です。実は、あれを実現するためのトレーニングの秘密は、「とにかくゆっくり動く練習をする」という事です。だけど、そんな修行をしているシーンを見せても盛り上がりがないので、映画では見せれないのです。自分のエネルギー状態を崩さないように、呼吸法と合わせてゆっくり動く練習を続ける事で、高速打撃を実現できるようになります。

などなど・・・

かなり様々な事を一気にやっていますが、
年を取っても衰えない強靱な体が出来、
同時に、精神性を高めていく事ができ、
それはビジネスにも良い影響を与える筈です。

武術では、

固体→液体→気体

の順番にレベルを上げていきます。

固体は物理的な次元の話、
液体は、波動となり、エネルギーを受け流したり、相手に返したりできるレベル、
更に気体の次元は、イメージを作って、
その情報を相手に転送したりできるようになるレベルです。

レノンリー先生の師匠は、
相手を殺すイメージをするだけで、一切触れずとも、相手は気絶する
そうです。

まさに「霸王色の覇気」です。

もちろん、そんな次元はそうそう行けるものではありませんが、
直伝コースは、そういった「気体のレベル(情報による物理次元のコントロール)」を目指します。

これは、精神性が低い人が技だけを学ぶと、他人を操作、支配する方向に使ってしまう、
非常に危険なものです。

あくまで、人生に活用して、ビジネスを加速させ、
多くの人を幸せにして、世の中に貢献していく為に使って欲しいと思っています。

なので、月3、4回、かなり時間をかけて、
マインドセットと一緒に、じっくり学んでいてもらいます。

また、それとは別に、練習会を開催したり、
半年経ったあとも、何らかの形でフォローできるようにはしたいなと思っています。

直伝コースに参加していると、

「自分の意識状態が、いかに相手に作用しているか」

が分かるようになります。

「殺気を感じる」
「気配を消す」
といった表現があるように、
自分の意識が、まわりに何らかの情報を送っていて、
それを意識的にコントロールする事ができれば、
肉体次元を超えた強さが身に付くようになるのです。

人数と参加費、日程について

人数と参加費についてですが、

基礎コース(東京)

- ・定員8名
- ・参加費35万円
- ・月1回×半年(+毎月練習会を行ないます)

基礎コース(関西)

- ・定員8名
- ・参加費35万円
- ・月1回×半年(+毎月練習会を行ないます)

直伝コース(基礎コース+東京で2回)

- ・定員8名
 - ・参加費100万円
 - ・毎月(基礎コース+直伝コース2回)×半年(+毎月練習会、たまに合宿を行ないます)
- ※基礎コースは関西、東京のいずれかに参加してください(両方も可)

分割払いについて

今回は、分割決済も用意しています。

関西基礎コースは、2分割(18万円×2)、3分割(12万円×3)、4分割(9万円×4)

直伝コースは、2分割(50万円×2)、4分割(25万円×4)、5分割(20万円×5)

でのお支払いが可能です。

○日程

東京基礎コース

11/19(土)
12/28(水)
1/14(土)
2/18(土)
3/18(土)
4/15(土)

関西基礎コース

11/23(水)
12/24(土)
1/15(日)
2/12(日)
3/12(日)
4/8(土)

直伝コース

11/20(日) 11/26(土)
12/9(金) 12/18(日)
1/21(土) 1/22(日)
2/19(日) 2/25(土)
3/11(土) 3/19(日)
4/16(日) 4/22(土) 23(日)

※4/22, 23は合宿となります。

となります。

全ての日程に参加できない、という場合でも、

補講などを行なって、全員がきちんと習得できるよう、プログラムを組んでいく予定ですので、ご安心下さい。

なお、今回、いずれのコースもかなりの高額となっておりますが、単に武術を学んでもらうというだけでなく、人生で活用できるツールを手に入れてもらいます。

特に今回は少人数制という事もあり、半年間でかなり仲良くなると思います。

そして、半年間で終わりというだけでなく、定期的集まれる機会も設けたいし、1期生と交流したり、あるいは、どこかのセミナーで会ったら、お互いの状況を報告し合ったり、あるいは軽く練習したりして、エネルギーを調節し合ったりできたらなと思います。

一緒に実践できる、一生の仲間を増やしたいのです。

因みに、レノンリー先生は、人脈も広く、世界中に多くの著名人の知り合いがいます。

例えば、もともとJCI出身だったので、政治家の方達(今の首相も含め)とも親交があったり、色んな団体のリーダー、経営者の知り合いも多いです。

そういった人脈も、仲良くなると色々紹介して頂けたり、何らかの事業を一緒にやったりできるかもしれません。

本業が忙しい方は、ご遠慮下さい

武術は、学びになるし、精神性も高まるし、経営者には非常にお勧めできるものです。

ただ、中には、本業で忙しくてほとんど参加できそうにない方や、資金繰りが追いつかない方もいるんじゃないかと思います。

武術って、良くも悪くも「楽しすぎる」ので、あまりハマりすぎて、本業を疎かにしてしまう方が出て来るのは、本意ではありません。

あまり時間的、あるいは金銭的に余裕が無いという場合は、積極的にはお勧めしません。

それでも、これをきっかけに自分のビジネスをもっと加速させたい、という場合は、来て頂いて、本気で学んでいってもらえたらと思ってはいます。

武術というのは「きっかけ」です。

何かをきっかけに自分の感覚を変えて、それによってビジネスを加速してもらえたらいいなあと考えていて、そのきっかけの1つが今回の武術なのです。

もちろん、既にビジネスが軌道に乗っていて、時間的にも余裕があつて、更に高みを目指すきっかけとして使ってもらっても構いません。

単なる武術講座と違って、経営者が集まる武術講座である、という事が、この講座の最大のメリットだと思っています。

既に何億と稼いでいる人達とは、経営者の勉強会では同じ目線で学べなくとも、新しい事を学ぶ講座であれば、どんな実績を持っている人とであろうと、同じ目線で、対等な立場で接する事ができるからです。

ネオキャピタルで企画する講座には、すぐ稼いでいる人(それこそ、何十億単位の人)も来たりします。

そういった方達と、同じ目線で、一緒に考えて、練習して、長く時間を共にすれば、自然と感覚は上がっていきますし、それに関しては、その辺のビジネス系のセミナーに出るよりも、はるかに価値があると自信を持って言えます。

しかも、今回の場合、超少人数制ですので、尚更です。

なので、武術を学ぶけど、それをきっかけに感覚を高め、自分のビジネスを加速させていこう、という気持ちで来て頂けたらと思います。

なお、人数に限りがあるので、場合によっては、すぐに埋まるかもしれません。その場合は、早期に閉め切らせて頂く可能性もありますので、ご了承下さい。

それでは、参加される場合は、半年間、楽しみましょう。ありがとうございました。

[関西基礎コース申し込みはこちら](#)

東京基礎コース(申し込み終了しました！)

[直伝コース申し込みはこちら](#)

[関西基礎コース\(4分割払い\)申し込みはこちら](#)

[直伝コース\(5分割払い\)申し込みはこちら](#)

※分割決済を希望される場合は、
銀行振り込みを選択して申し込んだ後、
希望分割回数をメールでお知らせ下さい。